

2019年9月6日

各位

会社名 ゼネラルパッカー株式会社
 代表者名 代表取締役社長 牧野 研二
 (コード: 6267 東証JASDAQ・名証第二部)
 問い合わせ先 執行役員管理部長 大西 章三
 電話番号 0568(23)3111(代表)

「第5次中期経営計画」(数値目標)の修正に関するお知らせ

当社は、2017年9月8日付「新中期経営計画の策定に関するお知らせ」にて、『第5次中期経営計画』(2018年7月期～2020年7月期)を公表しておりますが、最近の業績動向を踏まえ、最終年度(2020年7月期)の数値目標を修正いたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 中期経営計画(2018年7月期～2020年7月期)の数値目標の修正

(1) 経営目標の修正

	2020年7月期 (前回発表時)	2020年7月期 (今回修正)	増減
売上高経常利益率	6.0%以上	6.0%以上	—
ROA(総資産経常利益率)	6.0%以上	6.0%以上	—
ROE(自己資本当期純利益率)	8.0%以上	10.0%以上	2.0%

(ご参考) 過年度実績

	第1期(実績)	第2期(実績)
	2018年7月期	2019年7月期
売上高経常利益率	5.3%	8.9%
ROA(総資産経常利益率)	5.0%	8.5%
ROE(自己資本当期純利益率)	7.5%	13.9%

(2) 業績目標の修正

	2020年7月期 (前回発表時)	2020年7月期 (今回修正)	増減額	増減率
売上高	7,700百万円	8,900百万円	1,200百万円	15.6%
経常利益	475百万円	600百万円	125百万円	26.3%
親会社株主に帰属する 当期純利益	320百万円	420百万円	100百万円	31.3%

(ご参考) 過年度実績

	第1期(実績)	第2期(実績)
	2018年7月期	2019年7月期
売上高	7,098百万円	8,327百万円
経常利益	376百万円	745百万円
親会社株主に帰属する 当期純利益	260百万円	524百万円

2. 修正の理由

当社は、「連結グループの基礎固めから成長基盤構築の時期」と位置づけた『第5次中期経営計画』を策定し、この中で基本戦略として「さらなる成長に向けて海外事業の拡大を目指す」と掲げ、海外事業の拡大、グループ会社間の事業連携強化などに取り組んでおります。

包装機械事業において、顧客企業の設備投資需要は当初計画の想定を上回って好調に推移している状況にあります。

本日発表しました『2019年7月期決算短信〔日本基準〕(連結)』の通り、第2期(2019年7月期)の業績は、過去最高の売上高、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益を達成し、最終年度(2020年7月期)の当初業績目標も上回る実績となりました。

最終年度(2020年7月期)の見通しにつきましては、設備投資需要が堅調に推移して、包装機械事業が増収となる見込みであることから、売上高計画を上方修正するものであります。利益につきましては、包装機械事業の売上総利益率の低下と販売管理費の増加に伴い、第2期(2019年7月期)に比べて減益になる見通しであるものの、当初計画は上回る見込みであることから、最終年度の経常利益と親会社株主に帰属する当期純利益の計画を上方修正するものであります。

経営目標数値につきましては、第2期(2019年7月期)では、全ての利益率指標において最終年度(2020年7月期)の当初目標利益率も上回る実績となりました。

最終年度(2020年7月期)の見通しにつきましては、第2期(2019年7月期)に対して増収・減益の計画で利益率が低下する見込みであることから、売上高経常利益率、ROA(総資産経常利益率)の目標数値の変更はありません。ROE(自己資本当期純利益率)については、当期純利益の修正に伴い、目標数値を上方修正するものであります。

なお、『第5次中期経営計画』で掲げました経営ビジョン・基本戦略・経営施策等につきましては、変更はありません。引き続き各施策のさらなる強化とスピードアップを図り、修正目標の達成に取り組んでまいります。

以 上